

新人教育プログラム臨床見学受入施設制度の活用

新人教育プログラム臨床見学受入施設制度は、理学療法士の臨床能力向上を目的として2015年度から運用を開始しました。本制度は、日本理学療法士協会が認定する臨床見学受入施設で新人教育プログラム未修了の会員が見学研修を行うことで、新人教育プログラムの単位を取得できるという制度になります。新人教育プログラム未修了の会員は、見学研修で下記のテーマが取得できます。是非ともご活用ください。

- C-1 神経系疾患の理学療法
- C-2 運動器疾患の理学療法
- C-3 内部障害の理学療法
- C-4 高齢者の理学療法
- C-5 地域リハビリテーション

※2016年度は5月以降に臨床見学受入施設一覧を日本理学療法士協会ホームページにて掲載する予定です。

新人教育プログラム臨床見学受入制度を利用して

浦添総合病院 理学療法士 正本 宏治

皆様、新人教育プログラム臨床見学受入制度についてご存知でしょうか。この制度は2015年度より運用開始され、日本理学療法士協会が認定する施設の認定・専門理学療法士のもとで見学研修（理学療法の実践を通じた評価と治療について学ぶ）を通し、『理学療法の臨床（C領域）』の単位を履修できるという制度です。私は今回、宜野湾記念病院専門理学療法士である千知岩伸匡氏のもとで見学研修を行いましたのでご報告致します。私は現在、急性期にて勤めており、今回は回復期病院におけるPTの役割を理解することができ大変貴重な経験となりました。私のように経験の浅い時期に他の施設・しかも専門理学療法士の下で見学できたことは大変有意義だと思います。今回の見学内容としましては、NST・褥瘡管理におけるPTの役割や、電気刺激治療等、多くの見学研修を通して、視野を広げることができました。新人教育プログラム未修了の会員の皆さま、ぜひ積極的にその制度を活用頂くことをおすすめ致します。

詳しい内容は、日本理学療法士協会ホームページ「新人教育プログラム臨床見学希望」をご参照ください。

<http://www.japanpt.or.jp/members/lifelonglearning/introeduprogram/installation/>